

2-1.製品開発経緯②

アルミ手すり支柱の構造上の問題点

中空の押し出し型材を溶接ではなくネジ等で組み立てている

- ☆電氣的な被膜処理（アルマイト処理）と塗膜処理によって表面を保護している
- ☆アルミは熱による伸縮が大きいいため構成する各部材の溶接固定は難しい

支柱内部に補強材として鉄の中空角材が差し込まれている

- ☆鉄の角材がコンクリート内のベースプレートに溶接され又はコンクリートに接着されて固定している
- ☆オールアルミの支柱でアルミ素材のみで強度を持たせて鉄の角材を使用していないものもある



アルミ製手すりの支柱には外部から雨水が浸入したり、内部に結露水が発生したりして、支柱内の滞留水となる

※支柱足元付近のコンクリートに亀裂が入っている場合は滞留水がコンクリート内へ浸入し補強鉄筋の錆やコンクリートの中性化に影響を与えています